

みんなの 市議会

定例会概要	1・2
一般質問	3～5
委員会報告	5～8
所管事務調査報告	8
他団体会議報告	8
伊達市議会議員選挙区条例検討特別委員会	9
編集後記 ほか	9

ひまわり保育所整備事業を含む 平成28年度補正予算成立

第83号 2016.8.1

大滝区定住促進住宅整備事業に係る業者決定

伊達の歌碑を尋ねて 第五弾



磨^{みが}けたただ 心のらりの
曇^曇りなくげに清住の
名にしおうまで

清住丁の歌碑

(清住本線に面した清住会館横)

「ここは清住という、他にはない立派な名を選んだのだから、ひたすらに心を磨き、その名のように清らかで住みよい里にするようにはげんでほしい」「げに清住」の「げに」は「他と違って」という意味で、「名にしおう」は「名を持っている」「有名な」といった意味です。

「清住に住む人たちが、心も体も健康で、町の名のように、美しい故里となるように努力してください」との願いが込められた歌です。歌碑のすぐ後ろを流れる弄月川は明治5年に延べ1,128人の開拓者たちが自発的に出役して開削した谷藤川からの人工用水路で、当時の苦勞を偲ばせます。

歌碑のすぐ横には地域の「くりの木子ども会」が歌碑建立を記念して夢や思い出を未来につなげようとタイムカプセルを埋設しました。

昭和63年7月31日建立



世と宇治と 人の言ひしは
昔にて巽^{たつみ}の住まい
な^なに憂^憂かるべき

巽小路の歌碑

(国道37号から巽通り線右手の舟岡会館前)

巽(たつみ)とは、辰巳とも書き、十二支で表した方位で辰と巳の間、つまり南東の方角にあたり、易学でも吉方とされています。「世の中は嫌なところ、住みよい場所などと言っていたのは昔のことで、ここ巽小路に住んだら、世のうわさは、ことごとく忘れることができるだろう。開拓者たちよどうか頑張つてこの地に住みよい里を作りあげてほしい」という意味です。「巽」は方角以外にもうやうやしい、譲り合うなどの意も含まれており、美しい人間関係の生成を期待した歌ともいえます。

昭和63年8月23日建立

歌には、中国の陰陽五行説を取り入れているともいわれ、道内の各開拓地に例を見ない記念すべき文学的遺作ともいえます。

伊達の歌碑といえは、すぐに思い浮かぶのが、地名にちなんだ歌碑。亙理移住者の文人・佐藤助三郎脩亮が詠んだ「街に名づくる言の葉」20首をもとに、伊達郷土史研究会の手によつてそれぞれの地域に建立されました。同研究会では、こうした地名にゆかりのある歌碑を建て、地名の由来とその和歌を広く市民に知ってもらおうと、佐藤脩亮を顕彰する意味も込めて昭和57年から文学碑としての歌碑建立事業に着手し、多くの方々の協力を得て平成元年に18基の歌碑を完成させることができました。

伊達のこづみ

北海道の中でも特異な歴史を持つといわれる伊達市。しかし現在では道路路や建物も移り変わり、まちなかに開拓の頃のなごりを探することは難しくなってきました。そんなまちのあちらこちらに石碑が建っています。石碑には、遠い昔に建てられたものから、つい最近建てられたものまで、その時々々に生きた人のいろいろな思いが刻まれています。

第2回定例会概要

平成28年第2回定例会は、6月14日から6月27日まで開催されました。市政功労者表彰や補正予算など議案16件、諮問2件、報告4件について説明を受け、それぞれ本会議や委員会で審議を行いました。

また、6月21日と22日に8人の議員が登壇し、一般質問を行いました。

(詳細は3～5ページを参照してください。)



◎主な議案は…

- 伊達市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 非常勤特別職職員の報酬に関する条例の一部を改正する条例

など、各議案は総務文教常任委員会、産業民生常任委員会、予算決算常任委員会での質疑を経て原案のとおり可決しました。

(詳細は5～8ページ委員会報告をご覧ください。)

また、市政功労者の表彰、人権擁護委員の推薦については、それぞれ原案のとおり同意、適任と答申しました。

■平成27年度伊達市一般会計補正予算(専決処分の承認)

平成27年度歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ**1億9,072万2千円**を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ**181億3,989万9千円**とするものです。

補正予算額(1億9,072万2千円)の内訳

- 公共施設修繕等基金積立金……………**1億4,767万9千円**
- 地方創世加速化事業……………**4,299万3千円**
- スポーツ振興基金積立金……………**5万円**

■平成28年度伊達市一般会計補正予算

平成28年度歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ**2億2,754万5千円**を増額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ**191億7,724万8千円**とするもので、主な事業概要は次ページのとおりです。

◎主な補正予算（委員会報告は7～8ページをご覧ください。）

事業名	予算増減額	事業概要
国際交流経費	100万円	友好都市で中華人民共和国福建省漳州市からの視察訪問団受入れに係る経費
ひまわり保育所整備事業	7,016万6千円	待機児童の早期緩和に向けて、保育所の移転建替え整備を行うための用地購入費及び建築に向けた設計等の経費
介護サービス提供基盤等整備事業補助金	4,608万9千円	小規模多機能型居宅介護事業所、1施設の整備に対する補助
地域介護・福祉空間整備等施設整備補助金	1,694万9千円	介護従事者の身体的負担の軽減を図るために介護ロボットを導入する介護サービス事業者に対する補助
地域医療調査研究事業	576万5千円	地域医療の在り方や将来的な必要病床数、診療科目数など調査及び研究を行う経費
大滝区サービスステーション整備事業	495万8千円	大滝区内唯一のサービスステーションを整備するための実施設計の経費
大滝キャンプフェスタ補助金	25万円	大滝区の自然を活かした新たな観光資源の開発や観光地としての魅力を向上させるため、事業を開催する実行委員会に対する補助
胆振長輪線長流川休憩所トイレ整備工事	1,620万円	利用者の利便性向上のため、中間地点である長流川休憩所付近に新たなトイレ整備を行う経費

■平成28年度伊達市国民健康保険特別会計補正予算

平成28年度歳入歳出の総額に歳入歳出それぞれ**13万3千円**を増額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ**55億4,252万6千円**とするものです。

■意見書

結果	件名	提出依頼者	新政クラブ	会派創生	市民クラブ	公明党	青雲
○	平成28年度北海道最低賃金改正等に関する意見書	連合北海道伊達地区連合会	○	○	○	○	○
○	義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、子どもの貧困解消など教育予算確保・拡充と就学保障の充実、「30人以下学級」の実現を目指す教職員定数改善に向けた意見書		○	○	○	○	○
○	道教委「新たな高校教育に関する指針」の見直しとすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書		○	○	○	○	○
○	地方財政の充実・強化を求める意見書		○	○	○	○	○
○	自衛隊然別演習場での実弾発射問題の経緯と原因説明・再発防止を求める意見書	伊達市委員会	○	○	○	○	○
×	消費税増額延期ではなく10%への増税中止を求める意見書		×	×	×	×	×
○	骨髄移植ドナーに対する支援の充実に関する意見書	公明党伊達支部	○	○	○	○	○
○	次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書		○	○	○	○	○
○	待機児童解消に向けて緊急的な対応を求める意見書		○	○	○	○	○
○	食品ロス削減に向けての取り組みを進める意見書		○	○	○	○	○

今定例会に提出依頼があった意見書は10件で、審査の結果、以下のとおり意見書9件を、国の関係機関へ提出することになりました。各意見書の内容については、伊達市議会ホームページをご参照ください。

【解説】

各団体から提出された意見書は会派ごとに審査を行い、定例会中に議会運営委員会を開催して協議し、3分の2以上の会派の同意により意見書案として定例会に提出するかどうかを判断します。

定例会に提出された意見書案が過半数の賛成により議決されると伊達市議会の機関意志として国の各機関に提出することになります。よって、どこの政党や団体から出されようと議決された意見書は伊達市議会の意思ということになります。

提出先の国の機関とは、内閣総理大臣、衆参議院議長や各担当大臣宛てなど、かかるテーマに合わせて提出者の意志が反映

平成28年 第2回定例会

一般質問

6月21日(火)・22日(水)

(質問・答弁は質問者本人がまとめたものです)



辻浦

義浩 議員

新政クラブ

問 「伊達市防犯灯について」

防犯灯の維持費補助金は防犯灯数の増加により年々増額していくことが予想されることから、このままいくと財政への負担が懸念されるが見解を問う。

答

市の補助金もさることながら、自治会の負担も増えていくことになるので、自治会の皆さんと

議論が必要な問題であり、防犯灯の適正な配置、個数について議論していく。

問

「気門別川改修事業について」

現状の気門別川は土砂が堆積し木や草が伸び今や河川と言えない状態になっているが、今後の改修工事について問う。

答

本年度、河川の木立を伐採、来年度に土砂の除去を予定している。土砂の堆積などが続くと河川だけでなく漁港にも影響を与えかねないので、北海道に対し引き続き要請していく。



事業の早期再開、完成が求められている気門別川

田中

秀幸 議員

新政クラブ

問

「コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)について問う。」

答

本年7月に胆振教育局主催の研修会、7月から8月にかけて各中学校区単位での説明会を開催し、本年度中にモデル校を指定して先行導入し、平成29年度には全校において導入する方向で準備を進めている。

問

「防災備品の管理体制について問う。」

答

豊や毛布は総合センターに、その他のものは旧長和小学校に備蓄している。飲料水は、民間事業者と締結した「救援物資提供に関する協定」により確保している。

問

「伊達市地域防災計画の事務分掌を

どのように周知しているのか問う。

答

「伊達市地域防災計画・水防計画」を修正の都度、各部へ配布し機構改革や人事異動の際にも災害発生時の配備体制を庁内会議で周知している。



伊達市地域防災計画・有珠山火山防災マップ

寺島

徹 議員

新政クラブ

問

「道道を管理する室蘭建設管理部との日常の連携状況について問う。」

答

市民からの連絡やパトロール時に状況を把握した際は、双方で情報交換し、現地確認を行い

対応している。今後も迅速な対応ができるように、情報の共有に努めたい。

問

「伊達市地域防災計画について問う。」

答

伊達市で想定される災害は、噴火、地震、台風等多種多様であり、様々な災害に対応できるよう対策を講じていきたい。

市民への啓発は講演会、勉強会、広報紙への掲載等を通じて実施しているが、本年度からは、避難訓練も行う予定である。防災教育については、各学校において、定期的な避難訓練等を実施している。防災マ



修理中の網代町街路灯配電盤



次の世代を担う子ども達

ニューアルの作成や避難に係る各種名簿の作成については、現在鋭意作業中である。市街地区の一時避難場所としては、現経済センタービルの活用以外は考えられない状況にある。公的施設との併用も視野に入れ検討を進める。

佐藤 匡則議員
新政クラブ

問 子ども・子育て支援について問う。

答 待機児童解消と保育環境の向上に向けて、ふたば保育所の新築移転、つつじ保育所の民営化、ひまわり保育所の移転の検

討にそれぞれ着手した。児童クラブの拡張、増築、子育て支援センターの機能充実を含め、伊達市子ども・子育て会議に諮り、実施していく。

問 若い世代への施策について問う。

答 若い世代の参画や高校生からの意見聴取などに取り組み、計画に反映していくなど、若い力を活かしていく。



吉野 英雄議員
無党派

問 伊達すこやか親子21で課題として

いる子どもの朝食の欠食は、学業や虫歯と関連があることが歯科医からも指摘されている。対応を問う。

答 校長会などで問題を提起し、認識を共有するなど対応したい。

野田市では、市民要望の多い課題に対して「市民向けふるさと納税」を、基金を設け活用を図っているが市の考えを問う。

問 野田市では、市民要望の多い課題に対して「市民向けふるさと納税」を、基金を設け活用を図っているが市の考えを問う。

答 市民が住んでいるまちに行うことは可能であり、有効な手段のひとつである。現在の基金がある程度まとめることも検討が必要である。

問 介護の総合事業で、対象となる高齢者へのサービスは現行どおりか、また総合事業に向けた「協議体」設置の準備状況、及び判別のチェックリストへの対応を問う。

答 空き家率は全国平均14%を大きく下回る4%だった。需要があるため空き家物件が流通していると考えられる。調査した空き家510軒のほとんどが旧耐震等ですぐに商品化が難しい。今後、計画を立てて活用を検討していく。

問 昨年度に実施した空き家状況調査と持ち主へのアンケート調査結果を踏まえ、今後の対応を問う。

問 災害対策基本法の改正で義務付けられた避難行動要支援

者名簿作成と今後の活用策を問う。

洞口 雅章議員
青雲

答 生活の状況に応じたサービスの提供に努める。協議体は7月中旬に立ち上げる。チェックリストは活用するが、介護が必要な方が漏れないよう介護認定や総合事業を適切に運用していく。

答 名簿は今秋に完成予定である。その後は、消防・警察・自主防災組織等に名簿情報開示の同意を得る作業があり、関係団体と連携した活用には、まだ時間を要する。平常時の防災訓練等に関係団体と実施し、災害時の要支援者避難ができれば、より努めていく。



要支援者には身近な防災組織が必須

※避難行動要支援者とは、高齢者・障がい者・乳幼児等の中で災害時に配慮を要する方のうち、災害発生時の避難に特に支援を要する方をいいます。



渡辺 雅子議員
公明党

問 街路樹の管理に
ついて剪定の頻度
や低木・高木・遊歩道
などの樹木の管理につ
いて問う。

答 毎年6月から2月
までの期間で剪定作
業を行い、市民要望を踏ま
え雑草等は年2回の草刈
りを行い事故防止に努め
る。花植えや清掃等による
道路の環境整備とあわせ
樹木の選定についても、今
後市民とともに取り組ん
でいきたいと考えている。

問 街路灯と防犯灯
の考えについて問う。

答 街路灯は通常、道
路整備により設置さ
れる。防犯灯を街路灯へ移
行することは難しいので、
防犯灯に関しては設置費
や維持費の補助で自治会
負担軽減を図っている。問
題箇所については、特殊要
因により自治会関係者と

協議していく。



樹木の枝葉に埋もれ込む防犯灯

小久保重孝議員
青雲

問 伊達ハーフマラ
ソンの今後につ
いて問う。



今年のハーフマラソン大会

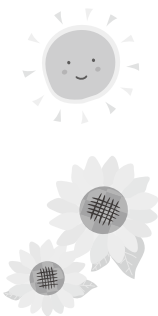
答 同大会は経済効果
と市の健康産業へ意
義のある大会。来年の30回
大会の成功に向けて市の
サポートを強めていく。

問 勉強ができても
情緒障がいが見わ
れる子は多くなってい
る。大きくなればなるほ
ど手遅れなので今まで
以上に保護者の理解を
促し、そうした子をサ
ポートする体制を確立
すべきだが、その必要性
について問う。

答 支援対象ではない
が問題を抱える子の
存在は認識している。家庭
のことであり難しいが
様々な情報を提供するこ
とで理解を促す取り組み
は今後も図っていく。

●その他の質問

市職員の人事評価制度
について



委員会報告

総務文教
常任委員会

委員長
菊地清一郎

■北海道市町村職員退
職手当組合規約の変
更について

「北空知学校給食組合」
が解散により「北海道市町
村職員退職手当組合」から
脱退したこと、あわせて本
文の字句整備及び別表の
表現変更のため規約を改
めることについて、「地方自
治法」の規定に基づき、議
会の議決を求めるもの。

審査の中では、

質疑▶現在の退職手当組
合の団体数はどれくら
いか。

答弁▶平成27年4月1日
現在の加入状況は、18
市、144町村、一部
事務組合96団体の計2

58団体である。
質疑▶加入者数が減るこ
とで、退職手当組合への
影響はあるか。

答弁▶退職手当組合は
各市町村の負担金で運
営しているため、加入者
が減っても影響はない。

■非常勤特別職職員の
報酬に関する条例の
一部を改正する条例

「国会議員の選挙等の執
行経費の基準に関する法
律」の一部改正等に伴い、議
会の議決を求めるもの。

審査の中では、

質疑▶別表その他の者の
項中、市長の任命権者に
改めるとあるが、法によ
る改正なのか。

答弁▶現行の条例では、市
長が報酬額を決定して
いたが、本来、任命権者
が報酬額を決定するこ
とが望ましいことから、
今回の法律の改正にあ
わせて改正することに
した。

以上、付託された2案

件は、全員一致で「原案のとおり可決すべきもの」と決定いたしました。



■建設工事請負を含む委託契約の締結について

大滝区定住促進住宅整備事業設計・施工一括業務の委託契約の締結について議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定により、議会の議決を求めるもの。

審査の中では、**質疑**▼いくつの企業がこのプロポーザルに応募してきたのか。
答弁▼今回契約の企業体の他にもう一つの企業体から応募があった。
質疑▼プロポーザルで募

集する事業の計画の妥当性を議会がチェックするタイミングについて、もう少し検討はできないのか。

答弁▼今後、議会に対してどのようにしたら事前に表示するのかを考えていきたい。
などの質疑がなされました。

■工事委託契約の締結について

伊達市公共下水道根幹的施設の建設工事の工事委託契約の締結について、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定により、議会の議決を求めるもの。

審査の中では、**質疑**▼建設工事全体の計画はどうなっているのか。
答弁▼主に処理場の汚泥処理施設の工事であり、平成24年度に長寿命化計画を策定し、平成25年度に実施設計、平成26年度と平成27年度に一期目の工事を行い、今

回、平成28年度と平成29年度で二期目の工事を行う。

今後は、平成28年度に水処理施設の長寿命化計画を策定し、平成32年度までに実施設計と工事を行う予定である。
などの質疑がなされました。

■伊達市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を改正する条例

建築基準法施行令の一部改正に伴い、条例改正を行うもの。

■伊達市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を改正する条例

学校教育法等の一部を改正する法律の施行に伴う厚生労働省関係省令の整備等に関する省令の施行に

伴い、放課後児童支援員の資格要件を改めるため、条例改正を行うもの。

■伊達市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を改正する条例

地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律の一部施行に伴う介護保険法等の一部改正に伴い、所要の条例改正を行うもの。
審査の中では、**質疑**▼この条例に関わる

小規模事業所は市内にいくつあるのか。

答弁▼現在、通所介護事業所は市内に15カ所。そのうち1カ所は認知症対応型で既に地域密着型サービスとなっており2カ所は定員が19人以上のため対象外、残り12カ所が地域密着型に移行する事業所になっている。

質疑▼改正後の第6条の文言は市として独自に表現したものなのか。
答弁▼第6条は、厚生労働省の省令で定められているものと同じ表現となっている。
などの質疑がなされました。

■伊達市公共下水道設置条例の一部を改正する条例

伊達及び有珠終末処理場の統合に伴う下水道事業の認可変更に合わせて、排水区域及び処理区域の見直しを行うとともに、今後の人口減少を踏まえた計

画人口に改めるため、所要の条例改正を行うもの。

審査の中では、

質疑▼今回の認可変更はいつの時点での人口に合わせたものなのか。

答弁▼人口については、前認可は平成24年度に推計した平成28年度の人

口であり、今回は平成27年度に推計した平成32年度の人口となっている。

なお今回の人口は、平成22年の国勢調査を基にした人口問題研究所の推計値を用いて算定している。

などの質疑がなされました。

以上、付託された6案件は、全員一致で「原案のとおり可決すべきもの」と決定いたしました。



予算決算
常任委員会
委員長
篠原 一寿

■平成28年度一般会計補正予算(第1号)

平成28年度一般会計の歳入歳出予算の総額に、それぞれ2億2754万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ191億7724万8千円とするもので補正の主な事業概要は左記のとおりです。

主な事業について

■国際交流経費

100万円

友好都市、漳州市からの視察、文化交流等の受入れ経費。

■地域振興基金積立金

300万円

寿浅弘二様からの寄附金の積立て。

■職員給与等

118万3千円

給付金事業に伴う正職員時間外手当の増額。

■臨時福祉給付金

2850万円

平成28年度個人住民税非課税者を対象に給付するもの。「給付金3千円×9500人」

■年金生活者等支援臨時福祉給付金

1950万円

臨時福祉給付金の支給対象者のうち障害、遺族基礎年金受給者を対象に給付するもの。「給付金3万円×650人」

■臨時福祉給付金等給付事務費

1469万5千円

臨時福祉給付金等の給

付事務に伴う事務費。

■ひまわり保育所整備事業

7016万6千円

ひまわり保育所の移転建替え整備を行うための用地の購入及び建築の設計費用。

■介護サービス提供基盤等整備事業補助金

4608万9千円

小規模多機能型居宅介護事業所を整備するため補助金。

■地域介護・福祉空間整備等施設整備事業補助金

1694万9千円

介護ロボットを導入する介護サービス事業所に対して購入またはリース等の費用を補助。

■伊達市看護師等修学資金貸付金

168万円

貸付人数が見込みより増えたことに伴う増額。

■地域医療調査研究事業

576万5千円

今後の地域医療、高齢者施策の参考とするための調査研究委託料。

■大滝区サービスステーション整備事業

495万8千円

市が「ホクレン大滝給油所」の既存施設を譲り受け同一場所での給油所を整備するための実施設計を行う費用。

■大滝キャンプフェスタ補助金

25万円

大滝区の自然を活かした自然学習などの事業を行う実行委員会へ補助。



視察受入一覧表

平成28年2月1日から平成28年7月31日まで

月日	来訪議会		視察項目
5/23	宮城県	岩沼市議会	愛のりタクシーについて
5/27	北海道	芽室町議会	伊達市の知的障がい者福祉施策について
6/30	東京都	府中市議会	次世代エネルギーパークの取組について
7/5	群馬県	渋川市議会	伊達ウエルシーランド構想について
7/7	秋田県	東成瀬村議会	移住・定住促進事業について
7/13	山形県	天童市議会	コミュニティFM放送局「wi-radio」について
7/20	千葉県	木更津市議会	道の駅「だて歴史の杜」及び「観光物産館」整備事業について
7/21	茨城県	水戸市議会	伊達市防災センターについて
7/27	北海道	上士幌町議会	移住定住の取り組みの現状について



補正額は13万3千円、総合行政システム改修費負担金で財源は国庫支出金です。

建設部が所管する各事業について説明を求め、伊達市における道路、橋、河川、上下水道及び大滝区定住促進住宅について調査を行いました。

■平成28年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

■胆振長輪線長流川休憩所トイレ整備事業
1620万円

胆振長輪線長流川休憩所付近に新たにトイレを整備。

産業民生常任委員会
委員長 小久保重孝

常任委員会
所管事務
調査報告

《5月20日(金)》

◆「建設部所管事業」について

他団体会議



報告

◆西いぶり広域連合議会

吉村俊幸 阿部正明 寺島 徹

●総務常任委員会行政視察

平成28年5月11日(水)から13日(金)までの3日間の日程で行政視察を行いました。

視察先及び調査項目については、下記のとおりです。

埼玉県さいたま市

…廃棄物処理施設について

新潟県三条市

…住民情報系システム共同化について

新潟県三条市清掃センター

…廃棄物処理施設について

◆西胆振消防組合議会

国本一夫 山田 勇 田中秀幸

●第1回定例会

平成28年3月28日(月)、伊達市消防・防災センターにおいて、平成28年第1回定例会が開催されました。

付議事件は、下記のとおりです。

- ①西胆振消防組合行政不服及び情報公開・個人情報保護審査会及び行政不服審査に関する条例
- ②西胆振消防組合情報公開条例の一部を改正する条例
- ③西胆振消防組合個人情報保護条例の一部を改正する条例
- ④西胆振消防組合行政手続条例の一部を改正する条例
- ⑤西胆振消防組合職員の再任用に関する条例の一部を改正する条例
- ⑥西胆振消防組合火災予防条例の一部を改正する条例
- ⑦平成27年度西胆振消防組合一般会計補正予算(第2号)
- ⑧平成28年度西胆振消防組合一般会計予算
平成28年度一般会計予算の総額を、対前年比、38.29%減の14億641万6千円とする。
以上8案件は、全員一致で原案のとおり可決しました。

※議員の派遣について

議長発議され、総務常任委員会からの閉会中継続調査の申し出について、申し出のとおり決定しました。

発行／北海道伊達市議会 編集／広報常任委員会 〒052-0024 伊達市鹿島町20番地1 TEL 0142-23-3333 FAX 0142-23-1200 gikai@city.date.hokkaido.jp

お知らせ

Information

議会を傍聴しましょう

次回の定例会は、9月5日(月)から開催され、一般質問は9月9日(金)と12日(月)を予定しています。日程など詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

会議録の検索をご利用ください

議会のホームページから『会議録検索システム』がご利用いただけます。新聞報道などではわからない実際の議論を検索できます。

伊達市議会議員選挙区 条例検討特別委員会

(委員長 国本一夫)

6月17日に第3回目の委員会が開かれ、伊達市議会議員選挙における選挙区の在り方に係る意見の募り方について協議した結果、伊達市議会議員全員で大滝区に伺い大滝区住民の意見を聞く場を設けることになりました。

ホームページは <http://www.city.date.hokkaido.jp/gikai/index.html>

編集後記



先の6月定例会では、8人の議員が登壇し一般質問を行いました。

一般質問は、議会へ提出された議案の審議とは別に、議員個人が日頃からの市政運営に対する疑義や懸案事項について、市側に説明を求めたり自分の考えを述べたりするもので、市側も議会側も情報の共有や知識・論点などが整理され、市政執行判断に大いに役立つものです。現在、市理事者も議会側も政策の施行や行政運営に当たっては、市民参加や住民の知恵が必要であるとの観点から、まちづくりに関する条例策定やパブリックコメント、市政の出前講座などを実施していますが、行政と住民との情報格差を是正するまでには至っていないと考えます。(議会制民主主義の弱点)

市理事者と議員との情報格差は議案審議においてある程度解決されますが、市民との情報格差の解決は限られた手段しかありません。最も有効な手段は、市が毎月発行する「広報だて」と定例会議会毎に発行される「市議会だより」を読むこと。「情報なくして意見なし」。まずは本会議や委員会を傍聴し、市政執行の実態を知ることです。

伊達市議会においても、遅ればせながら議会中継システムの導入方法について議論しております。(堀 博志)

広報常任委員会 (8人)

- | | | | |
|-----|-------|-------|-------|
| 委員長 | 阿戸 孝之 | 副委員長 | 佐藤 匡則 |
| 委員 | 小久保重孝 | 渡辺 雅子 | 田中 秀幸 |
| | | | 山田 勇 |
| | | | 堀 博志 |
| | | | 阿部 正明 |

熊本地震とそれに引き続く地震活動に対する伊達市議会の対応について

平成28年熊本地震とそれに引き続く地震活動において、お亡くなりになられた方々やご遺族の皆さまに心からお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆さま、関係者の皆さまには心からお見舞い申し上げます。

伊達市議会では、被災者の方々に少しでも支援させていただきたく、伊達市議会議員全員による義援金18万円(18人の個人拠出によるもの)を、5月23日に九州市議会議長会へ災害義援金として送金いたしました。

今後の一日も早い復興と皆さまの安全とご健康を、伊達市民の皆さまとともに、心からお祈り申し上げます。

伊達市議会議長 吉村 俊幸